

石川労働局 「第14次労働災害防止計画」(14次防)

進捗状況一覧 (アウトプット指標 / アウトカム指標)

中間年における取りまとめ



【石川労働局HP】

第14次労働災害防止計画推進中！

【石川労働局】 第14次防 WEB アンケート

石川労働局 「14次防アンケート」で
取組状況を簡単チェック！



<https://forms.office.com/r/T1xCJTbNs0>

石川労働局

労働基準部 健康安全課

「石川労働局 第14次労働災害防止計画」の概要 ①

【期間及び計画の方向性】

石川労働局

第14次労働災害防止計画

→ 令和7年度は、14次防の中間年

【期間】 令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日

○計画の方向性

厳しい経営環境等様々な事情について、それらをやむを得ないとせず、**安全衛生対策**に取り組むことが、事業者にとって**経営や人材確保・育成の観点からもプラス**であると周知する等、事業者による**安全衛生対策の促進と社会的に評価される環境の整備**を図っていく

引き続き、中小事業者なども含め、事業場の規模、雇用形態や年齢等によらず、**どのような働き方**においても、**労働者の安全と健康を確保**するとともに、誠実に安全衛生に取り組まず労働災害の発生を繰り返す事業者に対しては厳正に対処する。

「石川労働局 第14次労働災害防止計画」の概要 ②

【8つの重点対策】

◆ 8つの重点対策

② 労働者の**作業行動**に起因する労働災害防止対策の推進

① **自発的に安全衛生対策**に取り組むための意識啓発

③ **高齢労働者**の労働災害防止対策の推進

④ **多様な働き方**への対応や**外国人労働者**等の労働災害防止対策の推進

社会的に評価される環境整備、災害情報の分析強化、DXの推進

⑥ **業種別**の労働災害防止対策の推進

陸上貨物運送事業、建設業、製造業、林業

⑤ **個人事業者等**に対する安全衛生対策の推進

⑦ 労働者の**健康確保**対策の推進

メンタルヘルス、過重労働、産業保健活動

⑧ **化学物質等**による健康障害防止対策の推進

化学物質、石綿、粉じん
熱中症、騒音、電離放射線

◆ 達成目標

死亡災害：第13次防期間中の合計値の**15%以上減少**

死傷災害：第13次防期間中の最小値の**5%以上減少**

石川労働局「14次防アンケート」の実施概要 (「アウトプット指標」の進捗状況・追加確認用)



【石川労働局HP】「労働者の健康・安全」
 → 14次防アンケートバナー掲載



労働者の健康・安全対策の 取り組みは進んでいますか？

「石川労働局 第14次 労働災害防止計画(14次防)」(令和5年度～9年度)では、労働者の健康・安全対策に向けた**8つの重点対策**を掲げるとともに、それぞれの**進捗状況を確認するための指標**を定めています。



【参考:「14次防」の概要】

<https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/content/contents/001858478.pdf>

以下の二次元コード又はリンク先の「**第14次 労働災害防止生計画 アンケート**」から、重点対策に対する各事業場の**健康・安全の取組の進捗状況**を確認することができます。
自己点検及び**アンケート**へのご協力をお願いします。



「14次防 アンケート」で 取組状況を簡単チェック!



◆ 事業場名の
 入力は不要
 です。

<https://forms.office.com/r/T1xCJTbNs0>



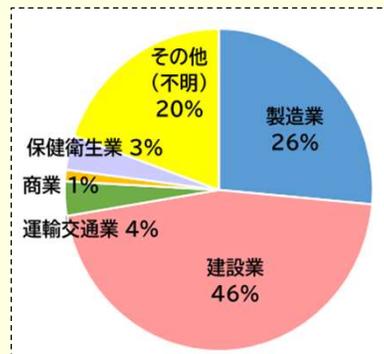
◆ アンケートの質問項目を順番にチェックすることにより、事業場における取組状況が自己点検できます。



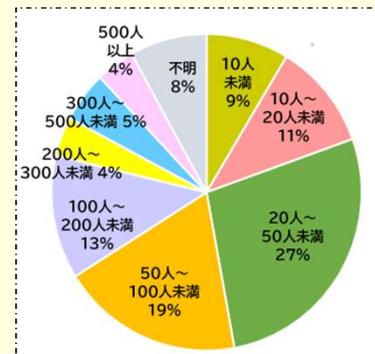
【石川労働局 14次防アンケート】

- ◆ 実施方法 : ① Microsoft Formsを活用したwebアンケート方式
 ② 紙媒体アンケート方式
- ◆ 周知方法 : 石川労働局ホームページ掲載、県内の事業者団体、災害防止団体への協力要請、各種会議及び事業場訪問時に周知用リーフレット配布及び協力依頼等
- ◆ 実施時期 : 令和7年1月～令和7年9月
- ◆ 回答数 : 174事業場 ① web回答 : 93事業場
 ② 紙媒体回答 : 81事業場
 (紙媒体は、一部未回答項目あり)

回答事業場比率
 (業種別)



回答事業場比率
 (規模別)



「石川労働局 第14次労働災害防止計画」 「労働災害全体」（アウトカム指標）進捗状況

14次防 労働災害全体の最終目標に対する進捗状況

アウトカム指標 (死亡災害)

13次防の期間中の
合計値の15%以上減少

(参考)【14次防の全体目標】
(死亡災害)

◆13次防期間中の実績合計
・合計：48人（コロナ関連除く）

◆14次防期間中の目標値
・15% → 7.2人 ≒ 8人
・「13次防から8人以上の
減少」
→ 40人以下
(年平均 8.0人以下)

年	R5	R6	R7	R8	R9(最終)
目標 (累計件数)	8	16	24	32	40

中間進捗(達成状況)

アウトカム (死亡災害)
未達成の推移
(地震関連工事を除くと
達成の推移)

(参考)【実績(アウトカム)】
(R6年12月時点)

◆ 死亡災害(コロナ関連除く)
・13次防(H30~R4)：合計48人
(年平均 9.6人)
・14次防(R5~R6)：累計18人
(年平均 9.0人)
→ 6.2%減少で推移

※ R6能登半島地震・復旧等
工事除く：累計計15人
(年平均7.5人)
→ 21.9%減少で推移

アウトカム指標 (死傷災害)

13次防の期間中の
最小値の5%以上減少

(参考)【14次防の全体目標】
(死傷災害)

◆13次防期間中の最小値
・最少：1,105人
(コロナ関連除く)

◆14次防期間中の目標値
・5% → 55.3人 ≒ 56人
・「13次防の最終年から
56人以上の減少」
→ 1,049人以下(最終年)
(年平均 11.2人ずつ減少)
→ R6年：1,082人以下

年	R5	R6	R7	R8	R9(最終)
目標 (各年件数)	1,093	1,082	1,071	1,060	1,049

中間進捗(達成状況)

アウトカム (死傷災害)
未達成の推移

(参考)【実績(アウトカム)】
(R6年12月時点)

◆ 死傷災害(コロナ関連除く)
・13次防(H30~R4)最少：1,105件

◆ R6年：1,249人
→ 13.0%増加で推移

※ R6能登半島地震・復旧等工事
除く：1,195人
→ 3.5%増加で推移

「石川労働局 第14次労働災害防止計画」 項目別指標（アウトプット／アウトカム）進捗一覧表 ①

（ア）労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進

アウトプット指標（ア）－1	中間進捗(達成見込)	アウトカム指標（ア）－1	中間進捗(達成見込)
<p>① 転倒災害対策（ハード・ソフト両面からの対策）に取り組む事業場の割合を2027年までに50%以上とする。</p> <p>② 卸売業・小売業／医療・福祉の事業場における正社員以外への安全衛生教育の実施率を2027年までに80%以上とする。</p>	<p>① 指標達成 (次年度の推移確認)</p> <p>② 指標未達成 (次年度の推移確認)</p>	<p>① 転倒の死傷年千人率を2022年と比較して2027年までに5%以上減少させる。</p> <p>② 転倒による平均休業見込日数を2027年までに30日以下とする。</p>	<p>① 指標未達成 →【最終年：達成見込の推移】 → 重点指導強化</p> <p>② 指標未達成 → 追加取組検討 → 重点指導強化</p>
アウトプット指標（ア）－2	中間進捗(達成見込)	アウトカム指標（ア）－2	中間進捗(達成見込)
<p>① 卸売業・小売業／医療・福祉の事業場における正社員以外への安全衛生教育の実施率を2027年までに80%以上とする。【再掲】</p> <p>② 介護・看護作業において、ノーリフトケアを導入している事業場の割合を2023年と比較して2027年までに増加させる。</p>	<p>① 指標未達成 →【最終年：達成見込の推移】 (次年度の推移確認)</p> <p>② 指標達成</p>	<p>① 増加が見込まれる社会福祉施設における腰痛の死傷年千人率を2022年と比較して2027年までに減少させる。</p>	<p>① 指標達成 → 重点指導強化</p>

（イ）高年齢労働者の労働災害防止対策の推進

アウトプット指標（イ）	中間進捗(達成見込)	アウトカム指標（イ）	中間進捗(達成見込)
<p>① 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）に基づく高年齢労働者の安全衛生確保の取組を実施する事業場の割合を2027年までに50%以上とする。</p>	<p>① 指標達成 (次年度の推移確認)</p>	<p>① 増加が見込まれる60歳代以上の死傷年千人率を2022年と比較して2027年までに男女ともその増加に歯止めをかける。</p>	<p>① 指標達成 → 重点指導強化</p>

「石川労働局 第14次労働災害防止計画」 項目別指標（アウトプット／アウトカム）進捗一覧表 ②

（ウ）多様な働き方への対応、外国人労働者等の労働災害防止対策の推進

アウトプット指標（ウ）	中間進捗(達成見込)	アウトカム指標（ウ）	中間進捗(達成見込)
① 母国語に翻訳された教材、視聴覚教材を用いるなど 外国人労働者 に分かりやすい方法で災害防止の 教育 を行っている事業場の割合を2027年までに 50%以上 とする。	① 指標達成	① 外国人労働者 の死傷年千人率を2022年と比較して2027年までに 5%以上減少 させる。	① 指標未達成 → 追加取組検討

（エ）業種別の労働災害防止対策の推進

アウトプット指標（エ） - 1	中間進捗(達成見込)	アウトカム指標（エ） - 1	中間進捗(達成見込)
① 「 陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン 」に基づく措置を実施する陸上貨物運送業等の事業場（荷主となる事業場を含む。）の割合を2027年までに 45%以上 とする。	① 指標達成	① 陸上貨物運送事業 の死傷者数を2027年までに2022年と比較して 5%以上減少 させる。	① 指標未達成 → 【最終年：達成見込の推移】
アウトプット指標（エ） - 2	中間進捗(達成見込)	アウトカム指標（エ） - 2	中間進捗(達成見込)
① 墜落・転落 災害の防止に関する リスクアセスメント に取り組む 建設業 の事業場の割合を2027年までに 85%以上 とする。	① 指標達成	① 建設業 の死傷者数を2027年までに2022年と比較して 5%以上減少 させる。	① 指標未達成 → 追加取組検討

「石川労働局 第14次労働災害防止計画」 項目別指標（アウトプット／アウトカム）進捗一覧表 ③

アウトプット指標（工）－3	中間進捗(達成見込)	アウトカム指標（工）－3	中間進捗(達成見込)
<p>① 機械による「はさまれ巻き込まれ」防止対策に取り組む製造業の事業場の割合を2027年までに60%以上とする。</p>	<p>① 指標達成 (<u>次年度の推移確認</u>)</p>	<p>① 製造業における機械によるはさまれ・巻き込まれ死傷災害件数を2027年までに2022年と比較して5%以上減少させる。</p>	<p>① 指標達成 → 重点指導強化</p>
アウトプット指標（工）－4	中間進捗(達成状況)	アウトカム指標（工）－4	中間進捗(達成状況)
<p>① 転倒災害対策（ハード・ソフト両面からの対策）に取り組む事業場の割合を2027年までに50%以上とする。（再掲）</p> <p>② 卸売業・小売業／医療・福祉の事業場における正社員以外への安全衛生教育の実施率を2027年までに80%以上とする。（再掲）</p> <p>③ 介護・看護作業において、ノーリフトケアを導入している事業場の割合を2023年と比較して2027年までに増加させる。（再掲）</p>	<p>① 指標達成</p> <p>② 指標未達成 → 【最終年：達成見込の推移】</p> <p>③ 指標達成</p>	<p>① 小売業における死傷者数を2022年と比較して2027年までに5%以上減少させる。</p> <p>② 社会福祉施設における死傷者数を2022年と比較して2027年までに5%以上減少させる。</p>	<p>① 指標未達成 → 追加取組実施</p> <p>② 指標達成</p>

「石川労働局 第14次労働災害防止計画」 項目別指標（アウトプット／アウトカム）進捗一覧表 ④

（オ）労働者の健康確保対策の推進

アウトプット指標（オ）－1	中間進捗(達成状況)	アウトカム指標（オ）－1	中間進捗(達成状況)
<p>① 企業における年次有給休暇の取得率を2025年までに70%以上とする。</p> <p>② 勤務間インターバル制度を導入している企業の割合を2025年までに15%以上とする。</p>	<p>① 指標未達成 →【最終年：達成見込の推移】</p> <p>② 指標達成 (次年度の推移確認)</p>	<p>① 週労働時間40時間以上である雇 用者のうち、週労働時間60時間以 上の雇 用者の割合を2025年までに 5%以下とする。</p>	<p>① 指標達成 → 重点指導強化</p>
アウトプット指標（オ）－2	中間進捗(達成状況)	アウトカム指標（オ）－2	中間進捗(達成状況)
<p>① メンタルヘルス対策に取り組む事業者の割合を2027年までに80%以上とする。</p> <p>② 50人未満の小規模事業場におけるストレスチェック実施の割合を2027年までに50%以上とする。</p>	<p>① 指標未達成 →【最終年：達成見込の推移】 (次年度の推移確認)</p> <p>② 指標未達成 →【最終年：達成見込の推移】 (次年度の推移確認)</p>	<p>① 自分の仕事や職業生活に関する ことで強い不安、悩み、ストレス があるとする労働者の割合を2027 年までに50%未満とする。</p>	<p>① 指標達成 → 重点指導強化</p>

「石川労働局 第14次労働災害防止計画」 項目別指標（アウトプット／アウトカム）進捗一覧表 ⑤

（カ）化学物質等による健康障害防止対策の推進

アウトプット指標（カ）－1	中間進捗(達成状況)	アウトカム指標（カ）－1	中間進捗(達成状況)
<p>① 労働安全衛生法第57条及び第57条の2に基づくラベル表示・SDSの交付の義務対象となっていないが、危険性有害性が把握されている化学物質について、ラベル表示、SDSの交付を行っている事業場の割合を2025年までにそれぞれ80%以上とする。</p> <p>② 労働安全衛生法第57条の3に基づくリスクアセスメントの実施の義務対象となっていないが、危険性又は有害性が把握されている化学物質について、リスクアセスメントを行っている事業場の割合を2025年までに80%以上とするとともに、リスクアセスメント結果に基づいて、労働者の危険又は健康障害を防止するため必要な措置を実施している事業場の割合を2027年までに80%以上とする。</p>	<p>① 指標達成</p> <p>②－(前段) 指標達成 (次年度の推移確認)</p> <p>②－(後段) 指標達成 (次年度の推移確認)</p>	<p>① 化学物質の性状に関連の強い死傷災害（有害物等との接触、爆発、火災によるもの）の件数を2018年から2022年までの5年間と比較して、2023年から2027年までの5年間で、5%以上減少させる。</p>	<p>① 指標達成 → 重点指導強化</p>
アウトプット指標（カ）－2	中間進捗(達成状況)	アウトカム指標（カ）－2	中間進捗(達成状況)
<p>① 熱中症災害防止のために暑さ指数を把握している事業場の割合を2023年と比較して2027年までに増加させる。</p>	<p>① 指標未達成 → 【最終年：達成見込の推移】</p>	<p>① 増加が見込まれる熱中症による療養者数の増加率(※)を第13次労働災害防止計画期間と比較して減少させる。</p> <p>※ 当期計画期間中の総数を前期の同計画期間中の総数で除したもの</p>	<p>① 指標達成</p>

※上記の死傷者数及び死亡者数は、「新型コロナウイルス感染症」によるり患者数を除く。